

## 裸眼3Dディスプレイの特徴

## 活用場所 たとえばこんな場所で

特徴 1  
偏光めがね不要

特徴 2  
160度広視野角

特徴 3  
高輝度モニター  
3D表示画面の明るさが低下しない

特徴 4  
安定した3D映像  
3D映像表示時のモアレ発生が非常に少なく安定した映像

特徴 5  
鮮明でダイナミック立体映像

特徴 6  
縦画面タイプもラインナップに

特徴 7  
多様なサイズバリエーション

特徴 8  
カスタマイズも量産も可能

イベント・展示会場



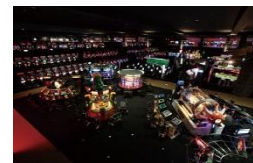
展示場やショールームで来場者の注目度を高め、集客効果をアップします。

ショッピングモール



アイキャッチ性を高め、店舗・売場へ誘引します。

アミューズメント施設



インパクトのある映像訴求でアトラクション等を盛り上げます。

## 裸眼3Dディスプレイによる効果

アイキャッチ効果増大

・ 鮮明でダイナミックな3D映像に視線集中

集客力UP

・ 160度の広視野角で、画面から飛び出す映像に注目度UP

映像訴求効果UP

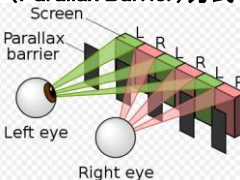
・ 製品のイメージやブランドイメージを向上させ斬新さや、先進性で魅力を高めます

活用性拡大

・ 横画面ディスプレイだけでなく、縦画面ディスプレイもラインナップ。活用の場面が広がります。

## 裸眼3D ディスプレイの仕組み

パララックスバリア (Parallax Barrier) 方式



右目と左目に別々の映像を見せることによって、「両眼視差」を生み出し立体に見せます。「両眼視差」とは右目と左目に写った像の違いを脳内で処理して奥行きを知覚することです。裸眼3Dの主要な方式としてはレンチキュラー方式とパララックスバリア方式があります。

当社は、パララックスバリア方式を採用し、当社製品は、160度広視野角からの立体像を得ることを可能にし、縦画面タイプの裸眼3Dディスプレイもラインナップ。